

2026年度 特別展

ガレとドーム

アール・ヌーヴォーのガラス

水辺のやすらぎ

海の神秘



2026 3.14 SAT ▶ 2027 3.16 TUE

開館時間 = 9:00~17:00 *入館は16:30まで

休館日 = 5/19、9/1、9/30、11/24、12/31、1/1、2/16

入館料 = 大人1,200円 中学生700円 小学生以下無料

- 団体割引(15名以上) 上記料金より100円引き
- 大学・高校生割引 1,000円(学生証提示に限る)
- 障がい者割引 600円(障がい者手帳を提示に限る。本人のみ)

*2026年3/31までは旧料金で入館いただけます

主催 ■ 公益財団法人北澤美術館

後援 ■ 日本ガラス工芸学会、諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会、一般社団法人諏訪観光協会、諏訪湖温泉旅館協同組合、信濃毎日新聞社、長野日報社、市民新聞グループ、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、LCV

協賛 ■ 株式会社キッツ *株式会社キッツは社会貢献活動の一環として公益財団法人北澤美術館を支援しています

左: エミール・ガレ 脚付杯「魚と海藻」1895-1904年 / 右: ドーム兄弟 鶴頸花瓶「蜻蛉」1904年頃



北澤美術館
KITAZAWA MUSEUM OF ART

〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り1-13-28 Tel.0266-58-6000

1-13-28 Kogandori, Suwa-shi, Nagano-ken, 392-0027, Japan

<https://kitazawa-museum.or.jp>

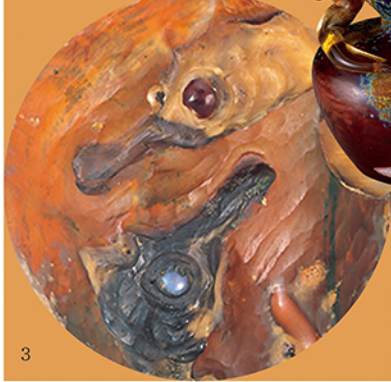
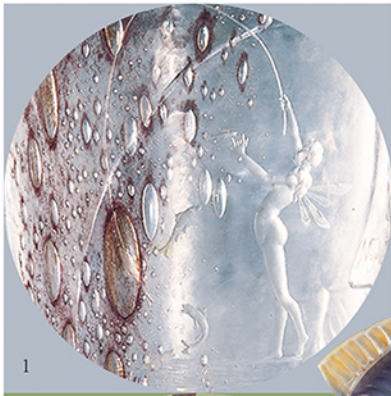


2026年度 特別展

ガレとドーム

アール・ヌーヴォーのガラス

水辺のやすらぎ 海の神秘



諏訪湖のほとりにたたずむ北澤美術館は、19世紀末アール・ヌーヴォーのガラス工芸家エミール・ガレとドーム兄弟の名作を収蔵する施設として国内外に知られています。このたび当館では、水にちなむテーマの特別展を開催いたします。

ガラスはしばしば清らかな水にもたとえられます。ガレとドームの作品は美しい花の意匠に目を奪われますが、水にまつわる魅力的な作品が数多くあります。本展ではそうした魅力に注目してみました。

ガレの故郷フランス北東部のロレーヌ地方は森と湖にめぐまれ、人々は狩猟や釣りに親しみ、工芸の題材にもなりました。一方、東洋との貿易で栄えたオランダの海浜風景は、異国情緒を誘うテーマとして、古くから陶磁器の絵付けに好まれました。ガレとドームはそうした伝統を背景に、当時ヨーロッパを席捲したジャポニズムの影響を受けながら、新しい芸術「アール・ヌーヴォー」を生み出していったのです。

また、深淵な芸術表現を追求したガレは、当時最先端の学問であった海洋学に興味を抱き、タツノオトシゴやクラゲなどそれまで知られていなかった海の生き物をテーマに、幻想的な世界を表現しています。色とりどりに輝くガラスの魅力をひと味違った視点で探る展覧会です。

エミール・ガレ

1. 台付花瓶「溪流のニンフ」1889年頃
2. 花瓶「貝殻と海藻に海浜風景」1895-1900年
3. 花瓶「海馬」1901-1903年
4. 壺付花瓶「魚」1895-1900年
5. 花瓶「貝殻と海藻」1901年頃

ドーム兄弟

6. 脚付花瓶「狩猟と釣りの風景」1895-1897年
7. 脚付花瓶「蜻蛉と蛙」1905年(10/1より展示)
8. 三耳花瓶「鷺に水草」1895年
9. 花瓶「カモメに帆船」1900年頃
10. 花瓶「魚と海藻」1898年頃

※1~3、8~10は部分

関連イベント

■ 記念講演会

『ガレとドーム、水と風景、自然の美』

日時：2026年5月9日(土) 14時~15時 聴講無料(要入館券)、事前申込み不要

講師：池田まゆみ(北澤美術館主席学芸員)

■ 学芸員によるギャラリートーク

毎月1回・約40分 参加無料(要入館券)、事前申込み不要

※開催日時は当館ホームページでご確認ください

○ 交通案内

中央自動車道

諏訪ICから約15分

岡谷ICから約20分

諏訪湖スマートICから約15分

JR中央本線

上諏訪駅から

徒歩で15分/タクシーで5分

○ 駐車場 バス10台・乗用車50台

